

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究 単位数: 3 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ G組

教科担当者: (A・D組: 阿部) (B・C・G組: 松平) (E・F組: 金澤)

使用教科書: (高等学校古典探究(第一学習社))

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】社会生活に必要な知識・技能を身に付け、国語に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力を鍛え、豊かな想像力を育み、他者と互いに考えを伝え合う力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い読書を通して自己を向上させ、言葉を通して社会との関わりを深める。

科目 古典探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
			話・聞	書	読						
1 学期	A 単元 「1年時の文法の復習」 【知識及び技能】 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、編者の考えを整理して内容を解釈し、それを評価しようとしている。	・指導事項 著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 ・教材 「古今著聞集」「沙石集」 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、編者の考えを整理して内容を解釈し、それを評価しようとしている。					10
	B 単元 「推蔽」「嬰逆鱗」 【知識及び技能】 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めようとしている。	・指導事項 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・教材 「推蔽」「嬰逆鱗」 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・訓読のきまりについて理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めようとしている。					12
	定期考査										1
	C 単元 古文: 「方丈記」・徒然草」 【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ものの見方や考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	・指導事項 争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 ・教材 『方丈記』『徒然草』 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。					9
	D 単元 「背水の陣」 【知識及び技能】 ・訓読のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、韓信のとった作戦の巧みさを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝を読んで韓信の作戦を整理し、現代における「背水の陣」の意味との関連性を説明しようとしている。	・指導事項 史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、韓信のとった作戦の巧みさを理解する。 ・教材 「背水の陣」 ・一人1台端末の活用 等				【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝を読んで登場人物の言動を押さえ、韓信のとった作戦の巧みさを理解できている。 【知識及び技能】 ・訓読のきまりについて理解を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に史伝を読んで韓信の作戦を整理し、現代における「背水の陣」の意味との関連性を説明しようとしている。					7
定期考査										1	
2 学期	A 単元 「大鏡」 【知識及び技能】 ・主として歌語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる歌語表現を積極的に理解しようとしている。	・指導事項 敬語法について理解する。 ・教材 『大鏡』 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・主として歌語表現に関する文語のきまりへの理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の中で使われる歌語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。					10
	B 単元 「長恨歌」 【知識及び技能】 ・漢詩の特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	・指導事項 漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・教材 「長恨歌」 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・漢詩の特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。					12
	定期考査										1
	C 単元 古文: 「蜻蛉日記」「源氏物語」 【知識及び技能】 ・主として歌語表現に関する文語のきまりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	・指導事項 中古の貴族の生活について理解する。 ・教材 『蜻蛉日記』『源氏物語』 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・主として歌語表現に関する文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。					8
D 単元 「鴻門之会」「四面楚歌」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「四面楚歌」と「鴻門之会」とを粘り強く読み比べ、それぞれに描かれた項王の人物像の違いと、その違いが生じた理由を説明しようとしている。	・指導事項 項羽と劉邦について、歴史的理解を深める。 ・教材 『史記』『鴻門之会』『四面楚歌』 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「四面楚歌」と「鴻門之会」とを粘り強く読み比べ、それぞれに描かれた項王の人物像の違いと、その違いが生じた理由を説明しようとしている。					8	

	定期考査									○	○		1
3 学 期	<p>○ 単元 『平家物語』</p> <p>【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文体の歴史的背景をふまえて『平家物語』を読み、学習の見通しをもって、和漢混交文の特色について理解を深める。</p>	<p>・指導事項 軍記物語特有の音便について理解する。</p> <p>・教材 『平家物語』</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>				○				○	○		12
	<p>○ 単元 『老子』『莊子』</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・儒家と対立する道家の古典である『老子』『莊子』を読み、古代中国思想について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に『老子』『莊子』を読み、それぞれが批判する世の中の考え方や、彼らの主張について説明しようとしている。</p>	<p>・指導事項 老荘思想が日本に与えた影響について理解する。</p> <p>・教材 『老子』『莊子』</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>				○				○	○		12
	定期考査									○	○		1
													合計
													105